



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第8回例会(8月31日)

平成30年9月7日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例会場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)  
例会日 毎週金曜日12時30分～  
http://www.morioka-rc.jp/

会長 坂本広行  
幹事 藤村吉隆  
会報 吉田幸一  
クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682  
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ BE THE INSPIRATION:インスピレーションになろう…バリー・ラシン  
盛岡RC会長テーマ -80年の歴史と伝統、繋いでいこう奉仕と友情-坂本広行



ゲスト卓話

## 私の ほこり

室岡提子 (盛岡芸妓)  
若柳寿慧 (若柳流一級師範) 様



「青柳」を踊る

盛岡芸妓のてい子と申します。

あるお席で、海野さんにお声を掛けていただき、軽くお引き受けしてしまいました。いざ盛岡の名士の皆さんばかりのこの場所に立ちますと、やはり緊張致します。どうぞよろしくお願ひします。

私は、まったくの素人でこの世界に入りました。盛岡の花柳界というのは世襲で、代々その娘さんが、受け継いで芸者になっておりました。そういう中で、私は二代目若柳力代先生の門弟に入り、長唄の稽古・三味線の稽古など修業をさせていただいていたのですが、「おめはんははん、芸妓っこにならねっか？」と先生から勧められました。芸者さんという世界をまったく知らずに、「素人ではできない仕事ではないかな」と思っていたんですが、先生の後ろ盾で「三年間、修業をしてみなさい」と。修業とは「プロとしての踊りを覚えろ」ということでした。二十歳そこそこでしたから、「これからの三年だったら、二十五、六歳になって嫁に行けたら良いかな」と考えて、出させてもらうことになって。よう子姐さんの妹分としてこの世界に入った訳です。

お披露目の日は、盛岡市内の官庁関係とか、銀行さんとか、あちらこちら。カツラを着けて、白塗にして、ご挨拶のお手拭を持っていただいて、姐さん達に手を引かれて回りをしました。ご挨拶回りのあと、喜の字さんでのお披露目があり、その席では、盛岡にはいろいろな踊りだけではなく、長唄や清元、お囃子という先生方がたくさんいらして、師交会というものがあつた、その先生たちの前で、「きょうから『てい子』として、お披露目

いたします。」とお披露目することができたんです。その瞬間、「私は別な世界の人間になったのかな？」と、とても不安に思いました。ところがご披露して皆さんにご挨拶する前に即お座敷が次から次へとかかって、というふうなかたちでお座敷に出ることになりました。

「まったくの素人が、この花柳界のことをわからないで、できるんだろうか？」と、毎日毎日、不安でした。お姐さんたちから「一人前になるように」と、叱咤激励を受けました。ただ踊るのではなくて、「所作だけではなくて、中身を勉強しろ」ということだったんですね、私の師匠は。「雨が降ったのなら、雨の中に立って、身に受けて所作をしろ」とか、「雪の中を走るときには、ただ走るのではない。雪は冷たい。冷たい中にどういふふうな表現をしていくか」という細かな指導がありました。20代のうちに歌舞伎座や、国立劇場など、大きい舞台を踏ませてもらうことになりました。毎日が泣きたいほど辛くもありましたが、大きな舞台に立つことによって、喜びとか、励ましが、芸に繋がってきたと思います。

踊りは三歳から習いました。「大人になったら、子どもたちを中心に、こういう芸事を教えることができるようになればいいな」という夢を持っておりました。お座敷でも、お客様が、私にいろいろ声をかけていただき、「てっ子ちゃんはいつもニコニコしている、いいなはん」と言ってくれた一言で続けてこれました。盛岡は、素晴らしいお師匠さんを招いております。人間国宝の常磐津英寿先生とか、長唄のお師匠さん、踊りはお家元に。

私の流派の家元さんは四世若柳壽延さんという方なんです。盛岡は初代家元さんから、花柳界の芸をお教えたいただき、ずーっと繋がって、お出でいただいております。そういう恵まれたところで、できていることはすごいことだなあ」と、どこの花柳界でも、ないことじゃないかなって、思っております。

今では、東京のほうでは男芸者さんになっている方もいらっしゃるんですね。お母さんが芸者さんだったそうです。やっぱり「花柳界を絶やしたくない」という思いで、その跡を継いで男の方がいるような時代になりましたけど、盛岡は世襲で来ているっていう意味では、私は「私を入れていただいて、良かったかな」と思っております。

今では若い子、ひよ妓たちを養成して、四人の後輩ができました。今まで私が一番下だったんですが、そこから解放されて一応「お姐さん」になっております。

平成三年から日本舞踊の師匠として自分の家に稽古場を持つことができました。70代、80代のお弟子さんが、私のところが多いんですけどね。毎週、来るたびに「てい子ちゃん、ここ来て良かった。」とお茶を飲みながら、一週間の出来事を話され、二、三回稽古をして。すると、「はあ、いいんだ」というような（会場/笑）。「お医者さん

さ行がねで、ここ来て、美味しいお茶っこ飲んで、話っこして、はあ大満足だ」と言って帰られます。「このお弟子さん達にも、私が与えられるものがあつた」と思いながら、お稽古を続けております。「一番下は今、三歳。上は九十ですか。この間、九十五歳の方が亡くなったんですけど、九十三歳ぐらいまでお稽古にいらして「ああ今日も良かった」と帰ってもらうことが、私には何よりの喜びでした。

花柳界の決まりがあるなか、身を粉にして修業しながら、続けていける職業。なかなかできるものではないと思っていたんですが、私の師匠、それからよう子姐さん、それからお客様に支えられて、私は感謝でいっぱいです。

私は「生涯、踊って人生を送りたいな」と思っております。私の役目として、お師匠さんから受けたものは全部、後世に伝えて終わりたいと思っております。

「今日は今、お座敷でいつも踊っている踊りではなく、ちょっと日本舞踊の本当のところを見ていただきたいな」と思っております。

皆さんには本当に感謝でございます。この場に立てたことにも、感謝しております。ありがとうございました。

例 会 報 告

第8回例会  
平成30年8月31日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司 会 坂本広行会長
- ・ロータリーソング  
(それこそロータリー)
- ・ゲスト 室岡てい子さん(盛岡芸妓)

- ・会長報告 坂本広行会長
- ・幹事報告 藤村吉隆幹事
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

- ◆田中堯史君…昨日は亙理R.C.に米内先生に随行いただきました。一昨日は仙台冠R.C.に岩野パスト会長、その前は、もう記憶の彼方デス。

まだ続きますが、宜しくお願い致します。

- ◆駒木進君・岩野法光君…てい子ちゃん、今日の卓話ご苦労さまでした。  
寺の下の幼なじみからニコニコします。
- ◆吉田育弘君…室岡堤子さん、卓話と踊りをいただき、ありがとうございました。  
熱烈なファンでもある一人より。

出席報告

会員数/75名

出席数/48名

出席率/67.6%

前々回/休会



プログラムのお知らせ

- ・9月7日(金) 新入会員卓話 櫻下 信会員「職場と仕事の話」
- 14日(金) 特別休会①
- 21日(金) ゲスト卓話 タンバンペンストン シラナットさん(米山記念奨学生)
- 28日(金) 卓話
- ・10月5日(金) 卓話
- 12日(金) 第2回クラブアッセンブリー

●本号編集担当/金沢 滋